

事業番号	06 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	自然公園管理事業		部局	環境部	課・室	自然保護課
			実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・県内14地域の自然公園の利用者数は、コロナ禍の移動制限・外出自粛等の影響でR3年度は2,304万人となっており、2年前の3,819万人（R元年度）と比べて約40%も減少している。
 ・このため、自然公園の環境保全を図りながら、その魅力を広く発信し、利用者を回復していく必要がある。

2 事業目的

県内自然公園が有する美しく豊かな自然環境や風致景観を保全するとともに、国内外から多くの人々が繰り返し訪れるよう、魅力ある公園づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 自然公園施設（自然保護センター等）の整備・運営
- ・自然公園の保護と適正な利用を推進し、並びに自然体験活動の機会を提供するため、自然公園施設（霧ヶ峰、乗鞍、美ヶ原、志賀高原、御嶽山）を管理運営
- ② 自然公園の保護と利用の好循環
- ・自然公園の保護と利用の両面で一層の質の向上を図るため、御嶽山の国定公園化に着手
 - ・地域関係者と協働して自然公園を管理運営するため、地域会議を開催
 - ・サウンディング型市場調査の提案実現に向け、市町村が実施する環境整備を支援
 - ・エコツーリズムガイド及び自然保護レンジャーを育成するため、研修会を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	自然公園施設来館者数	千人	25	40	↗	81	↗	40以上	達成	前年度の利用者数を上回ることを目指す。	
②	地域会議開催回数	回	3	4	↗	6	↗	6	達成	コロナ対応により開催を見合わせてきたが、R5年度は地域関係者と調整の上、各地域で1回以上、その他協議事項がある地域は所要の回数開催することを目指す。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	自然公園利用者数	万人	2021 (R3)	2,304	2022 (R4)	3,113	2023 (R5)	3,538	2027 (R9)	3,820

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	88,124	△ 6,283	81,841	55,273	36,498	6.5
R4年度	175,952	38,319	0	214,271	38,287	211,292	6.5
R3年度	0	249,634	△ 1,979	247,655	32,607	42,529	6.5

事業番号	06 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	自然公園管理事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

7 主な取組実績と成果

① 自然公園施設（自然保護センター等）の整備・運営

- ・霧ヶ峰自然保護センター及び御嶽山ビジターセンターにおいて、それぞれ指定管理者への委任により、民間のノウハウを活かした施設運営を実施
- ・各センター周辺のフィールドを活かしたガイドツアーやスタンプラリーなど、年齢に関係なく楽しめるイベントを開催

② 自然公園の保護と利用の好循環

- ・4 県立公園、1 国定公園において「地域会議」を開催し、地域課題の協議及び管理運営方法等の検討
御岳（7月） 塩嶺王城（5月） 聖山（8月、書面）
天竜小洪水系（12月） 中央アルプス（3月）
- ・サウンディング型市場調査の結果を踏まえて麻績村が実施する整備事業に対し、補助金を交付
（聖山高原県立公園内のオートキャンプ場炊事場新設、1,000千円）
- ・R4.6に御嶽山が新規国定公園候補地に選定。R5は長野県・岐阜県両県連絡会を開催するとともに、御嶽山の環境調査（環境省）に同行して国定化に向けた準備を推進した。



【新設したオートキャンプ場炊事場】

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	自然公園施設来館者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>・志賀高原自然保護センター及び御嶽山ビジターセンターの来館者数がR4年度と比較して2倍以上の伸びを見せたため、目標値を大幅に超えて達成することができた。</p> <p>・志賀高原自然保護センターについては、新型コロナウイルスの影響により抑えられていたインバウンド利用が回復したことが要因と考えられる。HPの英語ページ新設、フランス人留学生を対象にしたモニターツアーの実施等による外国人観光客向けの魅力発信に取り組んだことで、需要の高まっている利用者層にアピールできた。</p> <p>・御嶽山ビジターセンターについては、開館日数の増加が要因と考えられる。R4（1年目）は8月27日にオープンを迎え、10月23日の冬季閉鎖までの約3か月間の開館であった。R5（2年目）は4月29日から11月5日まで、予定していた全ての期間開館したため、より多くの方にご利用いただくことができた。</p> <p>志賀高原自然保護センター来館者数 R4 13,958千人 → R5 40,526千人（前年度比 約290%） 御嶽山ビジターセンター来館者数 R4 2,157千人 → R5 10,011千人（前年度比 約464%）</p>							
指標②	地域会議開催回数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>・聖山高原県立公園では、利用推進の観点を取り入れるべく公園計画の更新に着手。他3公園は令和4年度までに公園計画更新が完了しているため、地域ごとのルール策定について検討し、自然公園の保護と適正利用の推進を図った。</p> <p>・中央アルプス国定公園は令和2年度の国定公園指定後、初となる地域会議を開催。公園事業の進捗状況や地域ルール策定の必要性などについて協議を行った。</p>							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・塩嶺王城県立公園の計画更新（R6年度更新予定）をもって、全ての県立公園の公園計画の更新が完了する。
今後は公園計画書の整備方針に基づく進捗状況の確認を行うとともに、必要に応じて地域ルールを策定し、保護と利用の好循環を推進する必要がある。
- ・国定公園においても地域会議の設置を推進し、情報・課題の共有を図るとともに、必要に応じて公園計画の更新が必要である。
- ・御嶽山環境調査の結果を踏まえた公園計画書案を作成するとともに、地元市町村や地域関係者への丁寧な説明が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・県立自然公園の地域会議を開催し、保護と適正利用に係る協議を行うとともに、未着手となっている国定公園においても地域会議の設置を検討し、公園計画の更新、地域課題解決に向けた議論を行う。
 - ・岐阜県、地元市町村、地域関係者と連携し、御嶽山の国定公園化に取り組む。
- R6：公園計画書案の作成、地域会議の実施

事業番号	06 05 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	自然公園管理事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
1	自然公園施設整備・運営事業	25,594 千円	25,213 千円	28,113 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然公園施設管理運営事業	指定管理 委託	自然公園施設（自然保護センター及びビジターセンター）の管理運営 管理運営施設 5施設（指定管理2、委託3）	
2	自然保護センター緊急修繕事業	直接	・御嶽山ビジターセンターのネットワーク機器修繕 ・美ヶ原自然保護センターの火災受信機修繕 工事・修繕実施施設 2施設	
3	乗鞍自然保護センター解体事業	委託	松本市が所有する乗鞍観光センターの建て替え（鈴蘭地区の一体的な環境整備）に合わせ、乗鞍自然保護センターを解体するための調査設計業務 未実施 ※松本市の乗鞍観光センターの建替え計画が後ろ倒しになったため	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
2	魅力ある自然公園づくり事業	8,497 千円	3,312 千円	1,455 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然公園協働型管理運営事業	直接	地域会議の開催 地域会議開催回数 6回	
2	自然公園魅力向上マーケティング調査事業	直接 補助金	・自然公園の具体的な活用の提案や市場性を把握するため、民間事業者との対話を通じて実施したサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業構築 ・サウンディング型市場調査実施市町村が行う利用推進のための環境整備を支援 環境整備支援実施箇所 1公園	
3	御嶽山国定公園化推進事業	委託	国への国定公園指定申請に必要な自然環境調査及び公園計画書等作成業務を委託 未実施 ※自然環境調査を環境省が実施、公園計画書作成業務は令和6年度に実施予定のため	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
3	信州ネイチャーセンター構築事業	2,501 千円	179,012 千円	2,020 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ガイド人材の育成	委託	自然観察インストラクター等を対象に、エコツアーの企画立案やガイド技術等について座学及びフィールドワークによる実践的な研修会を実施 研修会開催 1回	
2	自然公園施設の広域連携の促進	直接	県立の自然公園施設や民間・市町村等が運営する類似施設の関係者を集め、広域連携に向けた事例紹介、情報交換等を行う会議を開催 広域連携会議開催 1回	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	自然保護レンジャー事業		555 千円	310 千円	644 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然保護レンジャー事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護レンジャーによる利用マナー等の普及啓発 ・自然保護レンジャーの資質向上のための研修会開催 研修会開催 2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	国定公園等自然環境保全対策事業		413 千円	476 千円	539 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	国定公園等自然環境保全対策事業	直接	特に多様な課題を抱える美ヶ原地域に自然公園管理員を配置し、パトロールや環境整備を実施 自然公園管理員 1名配置		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	美ヶ原台上管理		219 千円	219 千円	327 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	美ヶ原台上管理	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・管理小屋敷地借上料（公園管理に必要な資材等の保管） ・給水施設管理委託料（公園利用者用公衆トイレへの給水） 管理小屋設置 1箇所、公衆トイレ設置 1箇所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	各種負担金		4,750 千円	2,750 千円	3,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	負担金支払	負担金	上高地地区及び乗鞍岳地区等の自然環境の保全、利用の適正化と安全確保を図るため、各協議会の活動に対して支援 支援協議会数 6団体		